

議案第3号

鳥取県公立学校の校長及び教員としての資質の向上に関する「指標」の策定について

鳥取県公立学校の校長及び教員としての資質の向上に関する「指標」の策定について、別紙のとおり議決を求めます。

平成30年2月19日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

# 鳥取県公立学校の校長としての資質の向上に関する指標

平成30年4月1日 鳥取県教育委員会

観点 キーワード		職	校長
素養	鳥取県の求める教師像	理解力、教育的愛情	児童生徒に対して深い理解と教育的愛情を持って接するとともに、教育に対する使命感や責任感を持って意欲的に行動する実践力を有している。
		専門的知識・技能、指導力及び校長としての専門性	教科等に関する専門的な知識・技能と実践的な指導力を有するとともに、学校運営に関して教職員に対して的確な指導を行うなど、人材を育成する力や組織を動かす力を有している。
		創造力、対応能力	問題を多角的に捉え、その解決に向けた柔軟な発想力と対応能力を有している。
		自覚、協調性、倫理観	教育公務員としての倫理観を有し、法令や職場の規律を順守するとともに、組織の統括者としての自覚と協調性を有している。
		教養、人権意識	社会人として広い視野と深い洞察力を有するとともに、豊かな教養、優れた人権意識を有している。
学校経営	理念・ビジョン	確固たる教育理念	将来の国や県を担う児童生徒の心身ともに健全な育成に向けて、教育的識見に基づく明確な教育理念を有している。
		学校経営ビジョンの構築	国や県の教育改革の動向や今日的な教育課題を認識し、自校における適切な教育目標を設定するとともに、その目標達成に向けた総合的な経営ビジョンや経営戦略を構築している。
		学校の特色化・魅力化 (効果的な教育課程の編成)	今日的な教育課題や児童生徒の実態、また保護者や地域等からの要望等を総合的に勘案し、学校としての目指す方向性や学校教育活動の柱を明確に定めている。また、学校の特色化・魅力化づくりを積極的に行うとともに、保護者や地域等と目標やビジョンを共有し、連携・協働しながら児童生徒の育成に取り組んでいる。
		判断力と決断力・リーダーシップ	学校課題を的確に把握し、その解決に向けた取組の方向性を主体的に判断するとともに、教職員の理解と納得を得る的確なコミュニケーション力によって学校全体の組織的な行動につなげるリーダーシップを有している。
学校管理運営	マネジメント力	学校危機管理	危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、教育活動や学校施設等、学校全体を広く見渡す視点に立って危機の未然防止策を講じている。また、危機発生時には児童生徒の安全確保に向けて迅速かつ的確な対応を行うとともに、対応後には必要に応じて保護者や地域等への説明を適切に行っている。
		授業改革の推進	学習指導要領の内容を十分に理解し、今後の社会で求められる人材育成の視点に立って、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の在り方を積極的に研究・実践するなど、授業改革の取組を推進している。
		キャリア教育(生き方・進路指導)	児童生徒の実態や学校の特色、地域の実情などの現状を把握し、児童生徒が「何をしたいのか」、「何をできるようにしたいのか」という将来の生き方のビジョンを描くことができるための「キャリア教育の全体計画・年間指導計画」を適切に策定し、キャリア教育を計画的に推進している。
		特別な配慮を必要とする児童生徒への対応	特別な配慮を必要とする児童生徒の実態を的確に把握し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導を推進するとともに、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」に基づき、保護者及び関係機関等と密接な連携を図りながら、学校全体として組織的に対応する体制を構築している。
		児童生徒の個別課題への対応 ・教育相談、カウンセリング体制の構築 ・いじめ、不登校への対応	学校全体の児童生徒指導上の個別課題について共通理解を図るとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の関係者及び児童相談所等の関係機関との連携を密にし、課題解決に向けて組織的に対応する体制を構築している。
教職員管理	人材・組織育成	教職員との信頼関係	自らが自身の人間性を高めることに努めている。また、教職員それぞれの個性や能力、適性等を理解し、教職員が思いや悩み事を管理職に相談しやすい雰囲気を作るなど風通しの良い職場づくりに努めることで、教職員との適切な信頼関係を構築している。
		教職員の健康管理及びメンタルヘルスケア (勤務状況の把握)	教職員の日常の勤務状況等を的確に把握し、適切に業務分担を行ったり、適宜相談に応じたりするなどの配慮をとおして、教職員の健康管理(メンタルケア)に努めている。また、教職員が意欲的かつ自主的に職務に専念できるような職場環境づくりに努めている。
		教職員の資質向上 (適正な評価と人材育成)	教職員が主体的に設定した目標の達成に向けて、法令を順守しながら意欲的に取り組むことができるように指導助言を行っている。また、職務遂行状況(能力や実績)を教職員の育成段階に応じて公正かつ適正に評価することをおして、教職員の人材育成及び資質能力の向上を図っている。
		教職員の連携・協働体制の構築	児童生徒や保護者への対応、地域等との連携などの様々な学校課題に対して、教職員が課題やトラブルを一人で抱え込むことがないよう、「チーム学校」(効果的・効率的な組織)の意識醸成に努めることで、教職員の連携・協働体制を構築している。

※ 必要に応じて、「児童生徒」は「幼児児童生徒」と読み替える。

# 鳥取県公立学校の教員としての資質の向上に関する指標

平成30年4月1日 鳥取県教育委員会

職		教諭等・主幹教諭・教頭・副校長				
		キャリア スタート期 (教員養成 完成時・ 採用時)	育成期(第1ステージ) (1～5年目)	向上期(第2ステージ) (6～10年目)	充実期(第3ステージ) (11年目以降)	
観点 指針の配慮項目番号 キーワード	ステージ					
素 養	①教職を担うに当たり必要となる素養	理解力、教育的愛情	児童生徒に対する深い理解と教育的愛情を有している。	専門的知識・技能、指導力	教科等に関する専門的な知識・技能と実践的な指導力を有している。	
		創造力、対応能力	課題解決に向けた柔軟な発想と対応能力を有している。	自覚、協調性、倫理観	組織の構成員としての自覚と協調性を有するとともに、教育公務員としての倫理観、及び法令順守の精神を有している。	
		教養、人権意識	社会人としての豊かな教養、優れた人権意識を有している。			
学 習 指 導 (授 業 力)	②教育課程の編成、教育の方法及び技術	各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施	・教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得している。 ・年間指導計画・単元構想・学習指導案	・「学習指導要領」の趣旨・内容を理解し、担当教科・領域の年間指導計画を作成するとともに、児童生徒の実態を把握し、その実態に応じた単元構想や教材づくりに取り組んでいる。	・「学習指導要領」の趣旨・内容を理解し、学年や教科の系統性を踏まえた年間指導計画の工夫・改善を行うとともに、児童生徒の実態や学校、地域の特色を生かした単元構想や教材開発に取り組み、専門性の向上を図っている。	
		主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・学習指導法に関する基礎理論・知識を習得している。 ・情報教育機器の活用に関する基礎理論・知識を習得している。	・課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業を実践している。 ・情報機器等を積極的に活用した授業を実践している。	・課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業を実践するとともに、教科横断的な視点を持って校内における授業改革の推進を行っている。 ・情報機器等を活用した教材を開発し、工夫ある授業を実践するとともに、他の教員に情報機器等の効果的な活用方法を助言している。	
児 童 生 徒 理 解 ・ 指 導	③学級経営④児童及び生徒理解、教育相談、進路指導及びキャリア教育、いじめ・不登校対策⑤特別支援教育等	児童生徒の理解と学級経営	・学習集団形成に関する基礎理論・知識を習得している。 ・児童生徒との関わり・集団づくり	・学級経営の具体的な方策を立案し、実行している。	・学級経営において、児童生徒の個別理解を図るとともに、学級集団の状況を把握している。	
		教育相談、生徒指導及びいじめ・不登校対策	・生徒指導、教育相談に関する基礎理論・知識を習得している。 ・個への対応 ・コミュニケーション能力	・教育相談や生徒指導を適切に行う上で必要な理論や技法について理解するとともに、児童生徒の特性や人間関係、家庭環境等を把握し、それらを考慮した指導・支援を行っている。 ・いじめ・不登校等への対応を、一人で抱え込まず、関係教職員への報告・連絡・相談を密にして課題解決に向けて対応している。	・学年全体の児童生徒一人ひとりの特性や人間関係、家庭環境などを多面的に捉え、個に応じた適切な指導・支援を行っている。 ・同僚の生徒指導上の悩みを理解し、課題の解決に向けて指導・助言を行っている。 ・いじめ・不登校等の課題について、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携し、課題解決に向けて組織的に対応している。	
		特別な配慮を必要とする児童生徒への指導	・特別な配慮を必要とする児童生徒への指導に関する基礎理論・知識を習得している。 ・特別支援教育の視点	・児童生徒の実態把握に基づいた「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」を作成し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を行っている。	・関係機関と連携しながら、「個別的教育支援計画」に基づき「個別の指導計画」の作成と活用を行っている。	・学級の現状に応じて設定した学級経営目標と学級の現状とのずれを解消していくための具体的な方策を提案している。 ・個々の児童生徒の実態を的確に把握し、担任や学年団の相談役になるとともに、関係機関等との連携を積極的に図ることで、組織的な対応ができる体制づくりに努めている。
		キャリア教育(生き方・進路指導)	・キャリア教育(生き方・進路指導)の重要性を認識している。 ・生き方指導	・キャリア教育(生き方・進路指導)に必要な知識を活用し、児童生徒に将来の夢や希望を持たせる指導を行うとともに、地域や故郷への愛着を育む指導を行っている。 ・児童生徒の実態や学校(学科)の特色、地域の実情など様々な視点から現状を把握するとともに、児童生徒に、卒業時点で「何ができるようにさせたいか」を具体的に定めている。	・児童生徒の夢や希望及び実態を的確に把握し、キャリア教育(生き方・進路指導)の視点に立ち、個に応じた適切な指導を行っている。	・キャリア教育の全体計画や年間指導計画の内容を理解し、その意味を児童生徒に理解させるとともに、系統だった指導を学年団等の組織をまもめながら適切に実践している。 ・学校教育目標や学校の目指す方向性を理解し、育成したい児童生徒像を明確に把握しながら、その生き方指導の基本となる全体計画や年間指導計画の構築に取り組んでいる。
学 校 運 営 ・ 教 職 員 連 携	⑥学校運営の他の教職員との連携及び協働の在り方	学校安全への対応	・学校教育の社会的・制度的・法律・経営的理解に関する基礎理論・知識を習得している。 ・危機管理	・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるための適切な対応や危機の未然防止に努めている。	・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、学年や学校全体を広く見渡す視点に立ち、過去の事例に学びながら、迅速な対応及び危機の未然防止に努めている。	
		家庭・地域とつながる力	・地域社会に貢献することについて、自分なりの考えを持ち、実行しようとしている。 ・学校、家庭、地域との連携	・家庭・地域と連携し、児童生徒を共に育てていこうとする関係を築いている。	・家庭・地域・関係機関等と連携し、組織的な対応をしながら児童生徒の指導を推進している。	
		組織として連携・協働する力(同僚、関係機関、異職種)	・集団で業務を遂行する際、自らの役割に応じて適切に行動し、力を発揮している。 ・目標 ・業務改善 ・事務 ・外部 ・チームマネジメント ・協働的教員集団づくり	・管理職や同僚の指導・助言を受けながら、組織の中における自らの役割や責任を自覚するとともに、その一員としての業務を遂行している。	・同僚と協働しながら適切に業務を遂行するとともに、関係機関・異職種との連携を適切に行っている。 ・学年や教科等の組織から学校全体を広く見渡す視点に立ち、自校の特色について把握し、その特色を生かした実践を行っている。	

※ 必要に応じて、「児童生徒」は「幼児児童生徒」と読み替える。

# 平成30年度教職員研修体系の概要

鳥取県教育センター

ステージ	育成期(第1ステージ)		向上期(第2ステージ)		充実期(第3ステージ)	
	1～5年目		6～10年目		11～15年目	16年目以降
ステージ	教員としての必要な基礎的素養・指導技術を広く習得し、実践的指導力を身に付けるとともに、学校組織の一員としての自覚を高める。		第1ステージの経験をもとに、学習指導や学級経営の専門的知識・技能を習得するとともに、得意分野の開発と実践的指導力の向上及び視野の拡大を図る。		第2ステージの経験をもとに、職務に関する専門性をよりいっそう高め、広い視点から学校運営に積極的に参画する態勢を自覚するとともに、指導的立場としての力量及び管理的立場としての力量(マネジメント能力)を高める。	
重点内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導の基礎</li> <li>生徒指導の基礎</li> <li>自己成長のマネジメント及び組織貢献の基礎</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導の専門的知識や技能の習得</li> <li>生徒指導・学級経営の充実</li> <li>自己成長のマネジメント及び組織貢献の充実</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導・生徒指導の専門性や指導力の拡充</li> <li>組織貢献力の向上</li> <li>学校運営の中核としての企画・運営やチームマネジメントの展開</li> </ul>	
重点内容	専門的指導力		マネジメント能力			
基本研修	若手育成研修 新規採用研修 初任者研修 2年目研修 3年目研修		【5年目研修から変更】 6年目研修		中堅教諭等資質向上研修(11年目研修) 16年目研修【新設】 ※キャリアデザイン研修(H31年度まで実施)	
職務研修			学校経営研修 ミドルリーダー研修 学校リーダー研修 新任主幹教諭研修 新任事務長研修 新任教頭研修 新任副校長研修 校長研修 新任校長研修 事務主幹・事務長等研修 主任・主事等研修 職務に応じた研修			
専門研修	幼児教育、教科指導等、情報教育、特別支援教育、教育相談・生徒指導・学級経営、各種教育等					
その他	・教科・領域指導力向上ゼミナール ・若手育成セミナー		・土曜自主セミナー ・自治体向けのICT活用出前研修			